

白浜レスキューネットワーク通信 1～3月号

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 3137-8

TEL&FAX0739-43-8981

http://srnw.or.jp

e-mail yabiumi@gmail.com

理事長 藤藪庸一

郵便振替 00920-6-85589 口座名：白浜レスキューネットワーク
 紀陽銀行白浜支店普通預金 589389 口座名：NPO特定非営利活動法人
 白浜レスキューネットワーク

自殺者救済活動

1月1日～1月31日

保護件数 4件(男性1名、女性3名)

帰宅件数 3件(男性1名、女性2名)

2月1日～2月28日

保護件数 2件(男性2名)

帰宅件数 2件(男性2名)

3月1日～3月31日

保護件数 3件(男性2名、女性1名)

帰宅件数 3件(男性2名、女性1名)

この3カ月を総括すると、女性からの相談が増え、女性を保護することが増えた。全国的にも女性の自殺が各年代で増えているので、今後、滞在場所の確保で苦労しそうだ。

理事長が療養しながらの活動となり、三段壁での保護も警察に担ってもらうことが多く、警察が保護した後、こちらの共同生活に加わるといふかたちで対応している。

電話相談は、現在、4名のスタッフが対応している。しかし、仕事をしながらのため、スタッフが対応できない時間帯で、理事長の体調によっては留守電にして、後でかけなおす対応をとっている。

生活自立支援活動

1月1日～3月31日

滞在者数 16人(男性10人、女性6人)

自立件数 1件(男性1名)

○デイサービスやショートステイなどを利用しながら共同生活を続けている男性は、なんとか今年も健康に冬を越せそうだ。

○昨年、ホテルの仕事をやめ、警備会社に就職した男性は、今度こそは途中でやめないようにとがんばっている。

○50代の男性は、昨年末から、まちなかキッチンやホテルむさしの社食での仕事に入るようになり、給料を貯金して行くことが始まった。もうしばらくこのまま共同生活をしながら力を蓄えたいと考えているようだ。

○新聞配達をしている50代男性は、まちなかキッチンにも入り、また教会の聖歌隊にも参加するようになった。

○まちなかキッチンで働く40代男性は、いよいよ中心メンバーとして責任を増やしていくことに。

○まちなかキッチンで働く30代男性も、40代男性と共に、中心メンバーとして責任を増やしていくことに。町内の企業に就職が決まったが、コロナの影響で雇止めとなり、それならばと奮起し、さらに責任を増やす形で訓練することに。

○通信高校の生徒で寮生活している10代の生徒は、4月から3年生となることから進路を考え始めている。

○1月から共同生活に加わっている女性は、生活体験が少なく、何をするのも時間がかかる。まずは、早寝早起き、布団の上げ下げ、洗濯、毎食後歯を磨く、毎日お風呂に入るなど、生活訓練から始めることにした。時間の中で計画を立てて生活することなど一足飛びにはいかない。

○昨年から共同生活に加わっている女性は、ずいぶんと落ち着き、本人が持っている良さが出て来た。農業、保養所、むさしの社食などで力を発揮している。

○80代女性は、これまで手紙のやり取りだけだったお子さんと、いよいよ会って話をする時期が来たと思う。

○まちなか惣菜で働く50代女性は、共同生活

の中では落ち着いているが、過去を清算し未来へつなげていくことに関しては、まだ手つかずで、考えられないようだ。

○まちなかキッチンとコンビニをかけもちしている20代女性は、今の生活を続けていく分には問題がない。しかし、次に進んでいかなければならないので、負荷をかけていく必要があるようだ。

○50代女性は、気分のアップダウンはあるものの、なんとか踏みとどまり頑張っている。まちなかキッチンでは、時間の中で見通しを立てて仕事をするのが訓練されている。

○60代男性が年金をもらえることになり、アパートへと自立した。大腸癌が見つかり、入院手術も経験したが、現在、無事に退院し、療養しながらアパートでの暮らしを楽しんでいる。

○万引きで捕まり拘留されたことで職を失い、共同生活に戻って来た60代の男性は、戻ってくるまでの数カ月引きこもったこともあり筋力が低下し、手足がしびれて動きづらい体となっている。内科、神経科、整形外科、外科、循環器科など、検査をしてもらったが、異常は見つからない。今は、ラジオ体操やストレッチなどから始め、筋力を回復していくことを目指している。

○刑務所から出てきた男性は、仮出所期間中で3カ月滞在予定だったが、4月5日から仕事に行くことが決まり、職場近くの知人宅に移ることが監察官から許可され移って行った。

自殺予防活動

・フードバンク、フードドライブ

グルメシティの白浜店様、新庄店様、東陽店様、明洋店様、万呂店様、御坊店様、ショッピングセンター様のご協力に感謝。

また多数の方から、食料品(お米、野菜、缶詰、おもち、ケーキ、パンなど)の提供を頂き感謝。

南部町の2家族、田辺市の1家族に二週間分の食料品提供を行った。

3月31日から、白浜町在住の男性に、まちなかキッチンの無料の弁当を毎日届けている。

・少年少女漂流隊

2月、3月と、白浜第一小学校のクラブ活動の指導に行った。

アスレチックを実際に造って楽しんだり、防災グッズを実際に作って意識を高めたりと、充実したクラブ活動となった。



・明誠高校和歌山白浜SHIP(定時制高校)

寮生活で生活訓練を行い、まちなかキッチンで職業訓練し、午後から、授業で勉強する形で、男子生徒一人が学んでいる。

親の経済力に関係なく、自分で学費と寮費を稼いでいる点も、本人のこれからの役立つと考えている。

また、音楽や語学、そして地域との交流に力を入れている。音楽は、谷本智子師によるレッスン、語学はネイティブによる授業、地域との交流は、地域のスポーツサークル、クラブチームへの参加で実現している。

スクーリングや定期テストは、明誠高校が行う会場へ行き行っている。

2021年度は、認知度を上げて、生徒を増やしていく必要がある。